

平成 28 年度予算

まちの家計簿

平成 28 年度当初予算総額

112 億 6,568 万 3 千円

平成28年度一般会計、5つの特別会計、水道企業会計の各予算が、3月の第一回定例町議会で審議され、成立しました。

当初予算とは、1年間で町がどのくらいの収入を見込み、そのお金をどのようにに生かしていくのかを示しています。

今月の広報では、平成28年度予算の概要や、まちの方向性を示す「町政執行方針」の3つの重点施策について紹介します。

※一部、数値を切捨て表示している箇所があるため、合計金額が必ずしも一致しませんので、ご了承ください

予算書

「アクティブくっちゃん」

平成28年度予算説明書「アクティブくっちゃん」を5月1日（日）に発行します。

ここで紹介できなかった事業や、町の財政状況について掲載する予定です。

今月の記事と併せてお読みいただければ、より深く町の財政や町が目指す将来像を知ることができる内容になっております。ぜひご一読ください。

■お問い合わせ／町総合政策課広報

広聴係 ☎56-8001

一般会計は2年連続増額
予算総額15・6%増

※一般会計は、91億2,751万6千円で、前年度当初予算と比べ21・5%（16億1,451万6千円）増となります。5つの会計から成る※特別会計は16億2,733万3千円で、前年度比6・9%（1億2,009万6千円）減となります。

一般会計、特別会計に、水道事業会計を併せた予算総額は、前年度比15・6%（15億1,938万9千円）増の112億6,568万3千円となり、5年連続の増加となります。

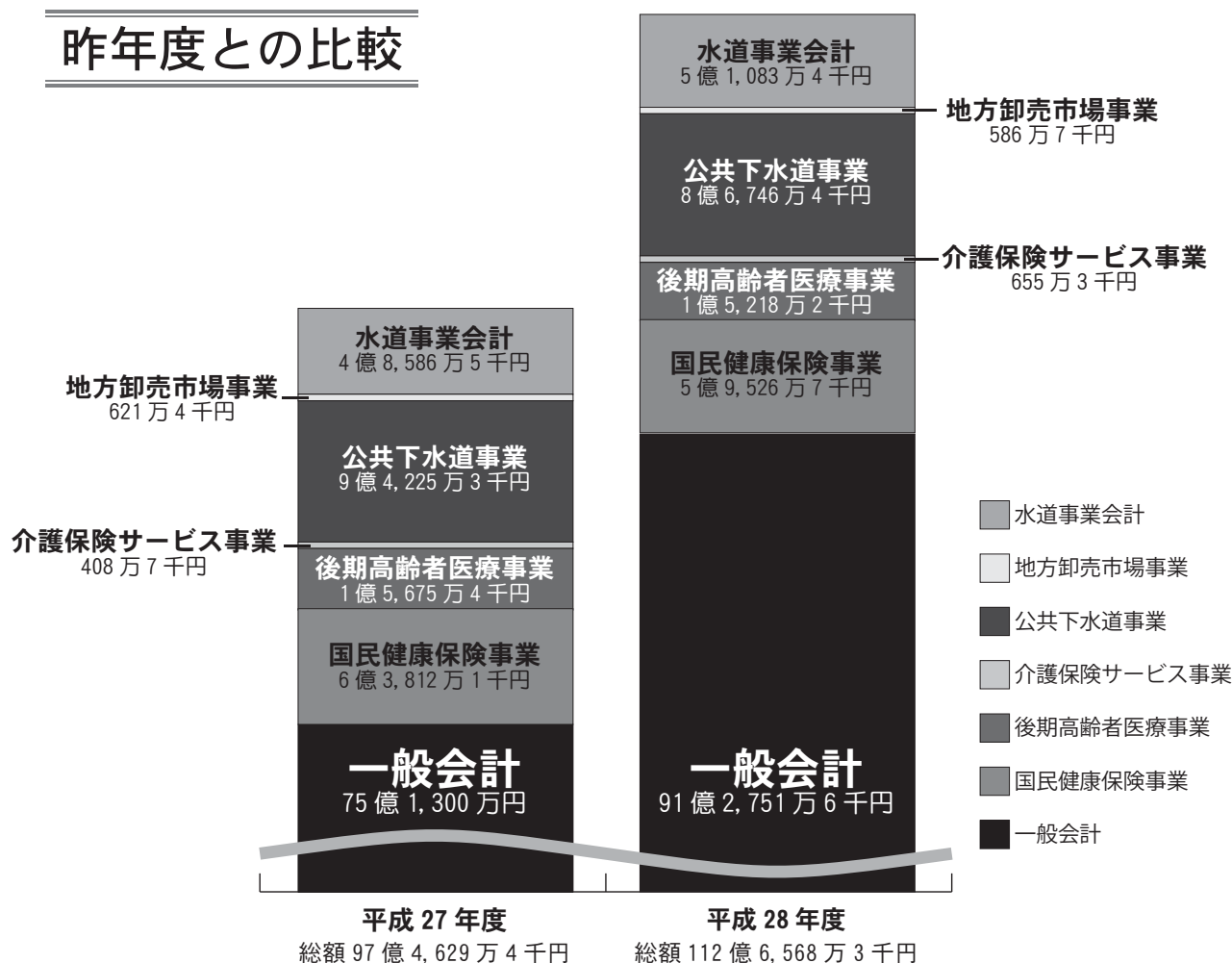
予算のポイント

学校給食センターの工事費として11億7,893万円を計上しました。子どもの健全育成を願い、より安心・安全な学校給食を提供できるよう努めます。

また、認定こども園に向けた事業も順次進めており、本年度は「子育て支援」により一層力を入れます。



昨年度との比較



語句解説

一般会計

税金を中心とした収入で、福祉・教育・道路など幅広い範囲の事業を行う会計です。

特別会計

特定の収入で特定事業（国保・後期高齢者医療・介護保険・下水道・地方卸売市場）を行う会計です。俱知安町の場合、次の5つを特別会計として設けています。

- ① 国民健康保険事業
主に、国民健康保険加入者の医療費を給付します。
- ② 後期高齢者医療事業
主に、75歳以上の方の医療費を給付します。
- ③ 介護保険サービス事業
主に、地域包括支援などの介護事業の運営管理の経費を支出します。
- ④ 公共下水道
主に、下水道管や下水処理施設の整備や維持管理を行います。
- ⑤ 地方卸売市場
主に、町地方卸売市場施設の維持管理を行います。

水道事業会計

独立採算による事業を経理する会計です。主に、水道水の供給や水源、水道管の整備や維持管理を行います。

町税増収の主な要因

- ひらふのコンドミニアムなどを中心とする投機熱の高まり（固定資産税 5,451万9千円の増収）
 - 景気回復（法人町民税 3,865万6千円の増収）
 - 個人所得の増加（個人町民税 1,864万7千円の増収）
- 国際リゾート地としての人気の高まりをはじめ、まちの活力は高まっています。本年度もさらなる増収が見込めるよう、まちを盛り上げるための施策を進めます。



町税は増加傾向を維持
地方交付税は減少

一般会計のうち、歳入は、全体の25・8%を占める※地方交付税が23億5100万円で、前年度当初より0・9%（2100万円）減となっています。次いで23・9%を占めている※町税は21億8343万9千円で、前年度当初より5・6%（1億1662万7千円）増となり、6年連続の増加となります。

町債残高増・基金残高減
財政不足分を補うため

歳入については、今年度、町税を前年度比1億1662万7千円の増加を見込んでいますが、財源不足分を補うために※財政健全化基金を3億9千万円、地産地消食育推進施設（学校給食センター）建設に係る財源として公共施設整備基金を2億6千万円取り崩します。

※町債の借入については、前年度比131%（8億1370万円）増の14億3480万円、町債の返済額は前年度比12・2%（8224万円）増の7億5734万4千円となります。依然として財政状況は厳しいものとなっていますが、今後予定される事業に伴う新規借入に備え、町債残高を極力増やさないように努めます。

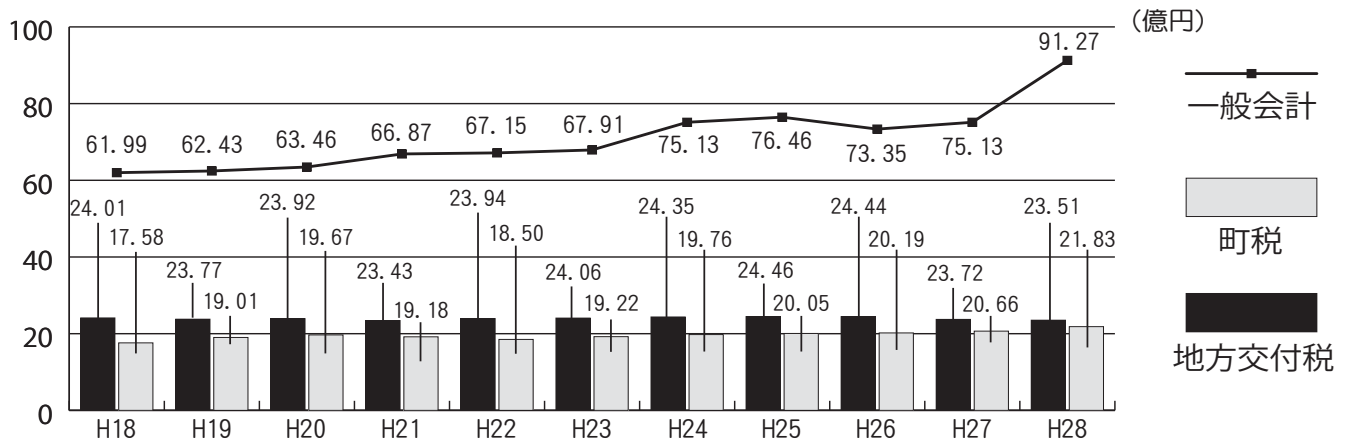
町債残高

平成27年度末（予定）	72億4,825万6千円
平成28年度末（予定）	80億 112万円

基金残高

平成27年度末（予定）	16億5,408万2千円
平成28年度末（予定）	9億9,409万2千円

一般会計予算・地方交付税・町税の推移



地方交付税

基準財政需要額（町が合理的で妥当な水準の行政活動を行うために必要な財政需要を、各行政項目ごとに算定して求めた需要額）と基準財政収入額（町の標準的な税収入の一定割合により算定された収入額）との差額に対して、国から交付される普通地方交付税と、それ以外の特殊な財政需要に対して交付される特別地方交付税からなります。

町税

税金には国、都道府県、市町村それぞれに納めるものがあり、その中で町に納めるものを町税と言います。町民税や固定資産税、軽自動車税、入湯税、町たばこ税などがあります。

基金

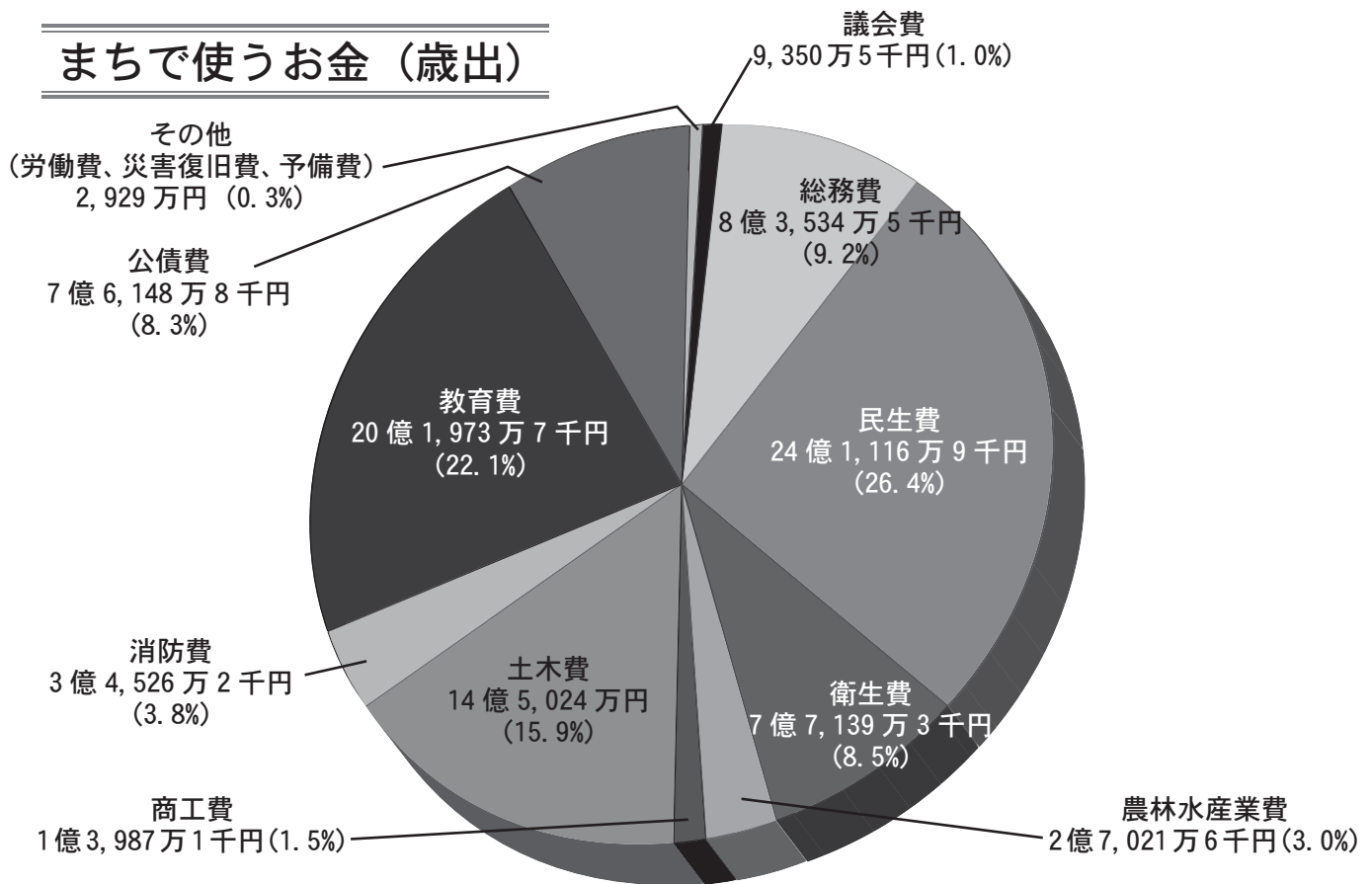
家庭に例えると「貯金」に当たり、俱知安町には13の基金があります。財政健全化基金は、財源不足を補うために積み立てた基金の一つで、収入が支出を上回った場合、その全部か一部を積み立てることが法律で決まっています。公共施設整備基金は、公共施設の整備に要する財源を確保するための基金です。

町債

町の長期にわたる借入金のことです。道路や橋などのように、長期にわたって利用される施設の建設に必要な資金について、財政的負担の軽減と世代間の負担の公平を図るという観点から、町債という形でお金を調達（借金）して対応しています。

2,751万6千円

まちで使うお金（歳出）



一般会計歳出状況

【前年度との比較】

- ▽議会費：前年度比1424万4千円減
- ▽総務費：前年度比3417万6千円増
- ふるさと寄附金業務事業、街路防犯灯設置費補助金の増など
- ▽民生費：前年度比5億1443万8千円増
- 認定こども園施設整備交付金、子ども・子育て施設型給付事業、統合保育所実施設計事業の増など
- ▽農林水産業費：前年度比1447万7千円増
- 農業基盤整備促進事業補助金、青年就農給付金事業の増など
- ▽商工費：前年度比659万円増
- 地域おこし協力隊事業の増など
- ▽土木費：前年度比4299万9千円減
- 新幹線新駅周辺整備検討業務委託料の減など
- ▽教育費：前年度比10億1685万円増
- 地産地消食育推進施設（学校給食センター）建設事業、スキー場リフト緊張用油圧ユニット機器更新・非常用制動機分解整備事業の増など
- ▽公債費：前年度比8278万円増
- 起債元利償還額の増など

町民一人あたりに使われるお金

合計 約 **564,800 円**

2月末現在の人口から算出（16,160人）

衛生費

医療、ごみの収集・処理など



47,734 円

民生費

福祉、児童館、保育所など



149,206 円

総務費

町民活動推進、交通安全対策など



51,692 円

議会費

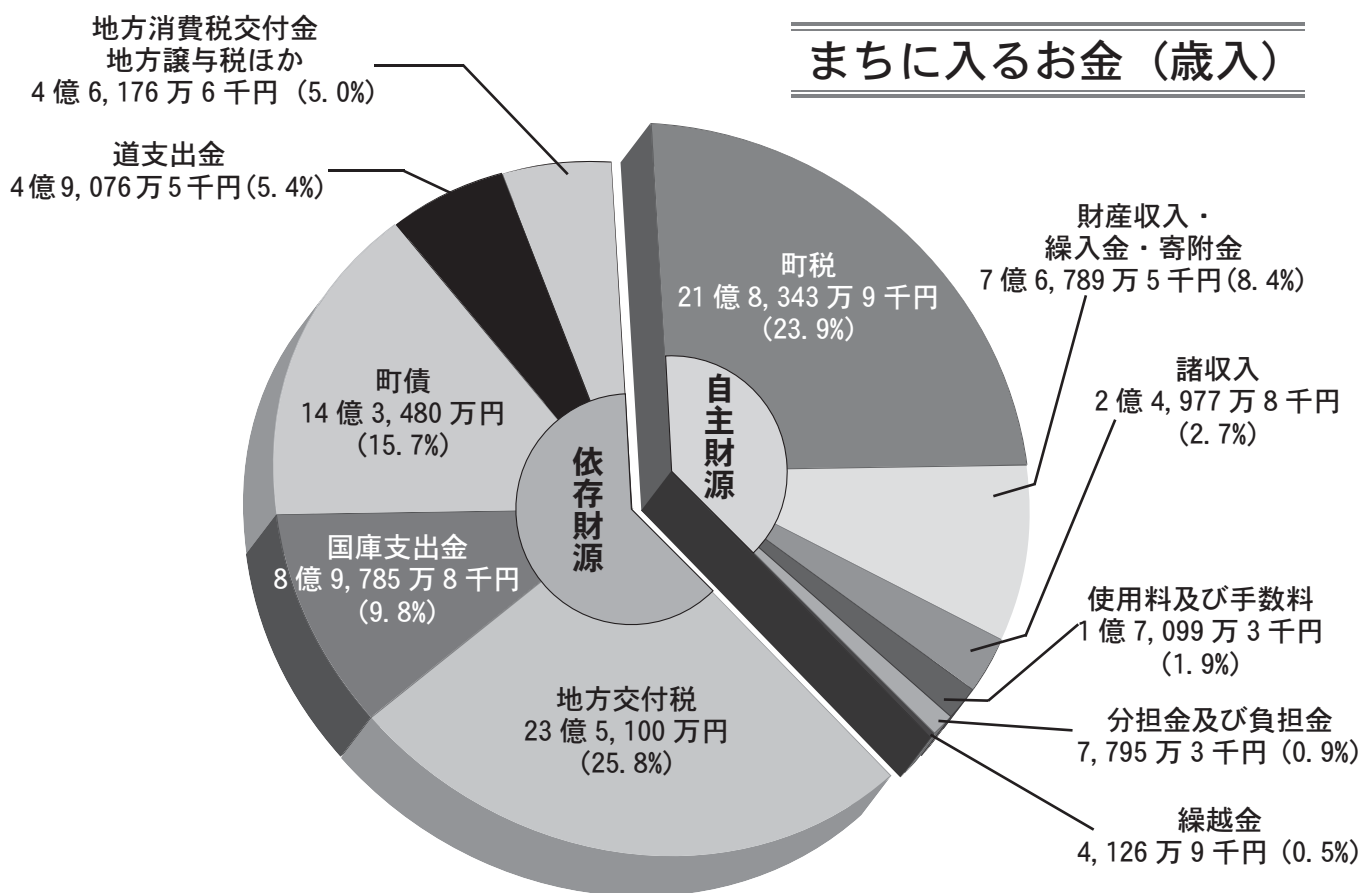
議会、町議会議員など



5,786 円

一般会計 91 億

まちに入るお金（歳入）



一般会計歳入状況

【前年度との比較】

- ▽繰入金：前年度比2億7137万円増
財政健全化基金繰入金、公共施設整備基金繰入金の増
- ▽使用料・手数料：前年度比54万円減
花園育成牧場使用料の減など
- ▽国庫支出金：前年度比2億5348万8千円増
認定こども園施設整備交付金、地方創生推進交付金、子どものための教育・保育給付費国庫負担金の増など
- ▽町債：前年度比8億1370万円増
地産地消食育推進施設（学校給食センター）整備事業債の増。認定こども園施設整備事業債の増など
- ▽道支出金：前年度比1億2318万3千円増
農業費補助金（農業基盤整備促進事業補助金）、地域づくり総合交付金の増など

語句解説

自主財源

町が独自で得ている収入。

依存財源

国や道などから交付される収入や、町の借金。

農林水産業費

農業、畜産業、林業など



16,721 円

商工費

企業、商店街、観光など



8,655 円

土木費

除雪、町営住宅、新幹線など



89,742 円

消防費

消防組合への負担金、防災など



21,365 円

教育費

学校教育、生涯教育など



124,983 円

公債費

町の借金の返済



47,121 円

その他

労働者、災害復旧費など



1,812 円

平成28年度

重点施策

3月の第1回定例町議会で、西江栄二俱知安町長が表明した平成28年度町政執行方針では、重点施策として3つの柱を掲げています。ここでは、3つの柱それぞれにおける主要事業を紹介します。

◆まちづくりの理念◆

住民の参加・参画による自治の確立

◆めざす町の姿◆

ふれあい豊かに、質の高い暮らしと文化があるまち

◆町政運営の基本姿勢◆

めざす町の姿を右のように掲げて、平成20年に策定した「第5次俱知安町総合計画」は、将来像に基づき各種の事業に取り組み、現在、後期計画期間に入っています。今後も引き続き、計画の推進を図っていきます。

また、3月に策定した地方創生にかかる「俱知安町人口ビジョン」および「俱知安町まち・ひと・しごと総合戦

略」において掲げた人口減少と地域経済縮小を克服する施策として、豊富な地域資源を活用した多様な地域社会の形成や、若い世代の仕事・雇用・子育て、教育を支援する社会環境の整備を進めます。



△第1回定例町議会の様子

子育て支援

少子化が進む中、地域全体で子ども・子育てを支援することが重要です。子育てをしている方やその子どもにとって、暮らしやすいまちを目指すとともに、次代を担う子どもたちの健全な育成のための支援を続けていきます



◆主な事業◆

▼地産地消食育推進施設（学校給食センター）建設事業

事業費…11億7893万円

子どもたちの健全育成を願い、より安心・安全な学校給食を提供するとともに、地産地消および食育を推進するため、新しい学校給食センターの建設を進めます。29年度4月の稼働を予定しています。

▼認定こども園整備交付金（新規）事業費…4億2633万6千円



△学校給食センター完成予想図

待機児童の解消など、地域における子育て環境の充実に向けて、「認定こども園」の施設整備（私立俱知安幼稚園建替）のための支援をしていきます。

▼旭ヶ丘総合公園わんぱく広場大型遊具設置工事業（新規）事業費…3454万円

旭ヶ丘総合公園わんぱく広場の大型遊具入れ替えを行い、多くの子どもたちや家族連れに親しまれる総合公園としての整備を実施します。

▼医療費給付扶助事業

事業費…7680万円

昨年度から実施した中学生までの医療費無料化を今年度も継続し、幼児から児童・生徒までの健康管理と保護者の経済的負担の軽減に取り組みます。

◆主な事業◆

▼俱知安町ひらふ高原地区まちづくり計画
事業費…4460万円

道路、案内サイン・街路灯の整備などを通して、安全・安心・きれいで元気なひらふの実現を目指したまちづくりを推進します。

▼地域おこし協力隊事業（新規）
事業費…800万円

全国から才能と熱意に満ちた人材を募集し、イベントを中心としたサポー

観光振興の推進

人口減少社会において、観光の盛り上がりによる交流人口の増加は、間違いなくまちの活力につながります。まちの魅力をさらに磨き上げ、より多くの人を楽しめる「世界に誇れる国際リゾートづくり」に取り組みます



ト体制を作り上げ、地域おこしの推進を図っていきます。

▼観光客誘致促進事業

事業費…455万5千円

国際リゾート地として人気の高い「ニセコエリア」を盛り上げるため、俱知安町・ニセコ町・蘭越町で取り組んでいる「ニセコ観光圏」事業をはじめとする広域連携に取り組み、観光客誘致を促進していきます。

▼ひらふ地区における行政対応の強化
多くの観光客を引き寄せているひらふスキー場地区における諸課題に迅速に対応するため、サンスポーツランドくっちゃん（字樺山）に配置している職員を増員し、ひらふスキー場地区におけるルール作りや地域の行政課題に対応していきます。



△観光の中心地「ひらふ坂」

◆主な事業◆

▼住み替え支援補助事業（新規）
事業費…440万円

高齢者が所有している戸立て住宅を、子育て世代などへ引き継ぐことを目的とした補助事業を行います。

▼住宅改修助成事業

事業費…1300万円

耐震診断・改修助成補助やバリアフリー住宅改修補助などに加え、若年・子育て世代が戸建て住宅に住みやすい環境を整えることを目的とした耐久性

住環境の整備

住民が安全で、安心して暮らしていくためには、各世代の実態に即した住環境の整備が必要です。若者・子育て世帯から高齢者まで、誰もが「住みたくなるリゾート（まち）づくり」を目指します



向上住宅改修補助（新規）を行います。

▼公営住宅建設事業（羊蹄団地5号棟長寿命化等改善工事）
事業費…1億6167万7千円

高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる住まいづくり、若年層の定住を促進する住まいづくりなどの観点から、俱知安町公営住宅等長寿命化計画にのっとり、公営住宅（羊蹄団地5号棟）の改修工事を実施します。

▼くっちゃん型住宅建設促進補助事業
事業費…2000万円

雪国で快適な生活を営むことを目指している「くっちゃん型住宅」の建設を促すための補助事業を行います。



△自然素材を活かしたくっちゃん型住宅